

2024年度第1回豊岡市地域包括支援センター運営協議会（会議録）

日 時：2024年7月3日 午後1時30分～午後3時

場 所：豊岡市民会館3階ギャラリー

出席者：8名（欠席者5名）

1 開会

2 あいさつ

原田部長

3 新委員の紹介及び自己紹介

4 会長の選出

斎藤会長退任の申し出があったため、委員互選により新会長は福井周治委員に決定

5 報告事項

(1) 2024年度豊岡市地域包括支援センターの設置状況について 資料1

(2) 2023年度豊岡市地域包括支援センター事業報告 資料2

2023年度地域包括支援センター事業等収支決算 資料3

【質疑応答】

質問：地域包括支援センターの日常業務がとても忙しくて事業の振り返り、次に何をしたらよいかというところまでできないかと思う。しかし、振り返りを行ってこそ、どんな社会資源が必要なのか課題が見えてくるのではないかだと思ふ。そして、何ができるか。また、資料P16で介護予防・日常生活支援総合事業対象者が2,300人ほどいて、そういう方のケアプランは簡略化したケアプラン作成をしてもよいのでは。「介護予防だから体操に参加できるプラン」のようないくつかのスタイルをパターン化して、そういうパターンを委託できるケアマネに示せば、受託してもらいやすいのではないか。

回答：意見を参考にして、プランがより簡易にできるよう考えてきたい。

質問：P10の虐待通報が43件のうち18件しか認定がされなかったというのは、虐待には当てはまらない通報だったのか。基準はあるのか。

回答：虐待の認定については、緊急性や内容等を市と社協で協議をし、認定の有無を判断している。例として言葉の暴力があったとしても、すぐに虐待とは言い難く様子を見た方がいいケースもあって、その後もモニタリングし続けるという事例が多い。

質問：市側に尋ねる。介護予防で、健康部門の保健師がしている事業もあると思うが、例えば玄さん体操で移動手段がない人がわざわざ玄さん体操の会場まで行くのではなく、ご近所で複数人が集まって体操できるように個別に対応したらいいのではないかと思うことがある。高年介護課だけでなく、関係課が集まって重層的支援事業のような方策を考えていったらいいのではないか。

回答：玄さん元気教室等の健康部門との連携については、会館までの距離が遠い場合、身近で少数の方でも開催できるような働きかけもしている。高齢者の身体状況をふまえ、地域のサービスにつなぐ、場合によってはセルフケアに移行できるよう包括支援センターと検討していきたい。

質問：防災にも触れてあったが、BCPについては防災の担当課と重層的に取り組まなければならない。地域住民の方と避難訓練や、福祉避難所の運営などをどうすればよいか。

回答：日高では民生委員等の福祉に関係する住民の方と一緒に、災害時に災害時要援護者登録をしている方に対して、区長、民生委員がどのように支援していくかの研修を行った。それを考えていく中で、ケアマネがつくる BCP と個別支援計画をすり合わせるために、その研修にケアマネも参加してもらい、一緒に検討した。

質問：高年介護課だけでなく、各関係課と協力していくということか。

回答：その通り。

質問：成年後見人については、市長申立て以外にどのような仕組みがあるのか。

回答：誰も親族がない場合、市長が親族に代わって申し立てを行う。例えば障害の子を持っているお父さんが、親が後見人になる場合があるが、それができない場合市長が申し立てる。

質問：日高の地域包括支援センターは、マイナス 230 万円は社協が負担していたのか？

回答：日高には他の圏域の余剰分を当てている。社協から見出しをしているわけではない。

質問：収支差額の 820 万円を市に返還したということか

回答：その通り。

6 協議事項

- (1) 2024 年度豊岡市地域包括支援センター事業計画について 資料 4
2024 年度地域包括支援センター事業等収支予算 資料 5

【質疑応答】

質問：認知症施策の推進について。P27 で認知症初期集中支援推進事業のところで早期に医療につなげるとある。病院につながったから終わりではなく、P7.8 の事例のようにどう支援していくか検討ができればよいのでは。医師や事業に関係するメンバー、専門職から意見をもらい支援の仕方を学び、それを利用者に返していくという仕組みの事業でもあるので、もっとこの事業を活用したらいいのでは。

回答：今後の初期集中チーム会議の中で、参考にさせていただきたいと思う。

質問：P25 で今年度高年介護課内に専門職を配置したとあるが、どのような役割か。病院には救急外来に夜中でも相談が入り、包括にその対応してもらっている。病院としては入院することで、家族との関係が切れてしまうということがある。但馬から離れ、遠方の病院だと余計関係が切れてしまう。

回答：今年度から高年介護課から 3 人配置されたのは、社会福祉士 2 人、保健師 1 人。これまで

包括が担っていた困難事例対応について、必要に応じ市がサポートしている。豊岡圏域だけでなく、それ以外の圏域でも振興局だけでは対応できないものには介入している。

意見：高年介護課に配属された社会福祉士や保健師が、個別の事例として把握し、例えば認知症となった場合に、次にどういう社会資源が必要か分類することで地域ケア会議につながると思うので、そのことをお願いしたい。

回答：承知した。

(2) 指定介護予防支援及び第 1 号介護予防支援事業の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所について 資料 6

【質疑応答】

なし

7 その他

(1) 2025 年度以降の豊岡地域包括支援センターについて

【質疑応答】

質問：直営に移行すると、専門職が多数必要となる。市は専門職を確保できるのか。豊岡包括に配属されていた社協の専門職はどうなるのか。

回答：基本的には市の内部で異動できるよう調整する。市職員にはいない主任ケアマネは募集になる。募集で応募がなかった場合に、社協はバックアップしてくれると聞いている。

回答：社協職員の 12 名については介護保険事業や地域福祉事業で不足しているので、そこに補充することを考えている。非常勤雇用している職員については、本人の希望を聞いて、そこで働いていただく。これから協議しながら、十分に市に協力していきたい。

意見：もっと業務を簡素化・効率的にできないか考えながら、業務にあたってほしい。

8 閉会